

第63回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

HIT06	高校	情報技術	東京都
学校名	東京都立日比谷高等学校		
研究作品タイトル	統計情報に基づく購買傾向分析		
研究者氏名 (共同の場合はグループ名)	塩野 かなで		
指導教諭氏名	原田 将司		

【動機】

購買時における人々の行動に興味があり、商品そのもの以外に何が購買に関係しているのか調べたかったから。また消費者の要求を明らかにし、その要求に応えることで消費者と企業のウィンウィンの関係を創りたかったから。

【方法】

楽天データの特徴は消費者のレビューを分析できる点にある。よって、その特徴を生かすためにテキストマイニングを使用した。また自ら変数を作り評価との関係性を明らかにするために回帰分析を行った。

【結果】

楽天コスメ部門の口紅データでは、年齢と購入時価格に比例の関係はなかった。高額商品を購入した人のレビューに対し作った変数と評価を回帰分析した結果、楽天では商品の質よりも価格（他店との比較）を重視していると分かった。

【まとめ】

楽天では比較的価格の安い商品が多く売れていたが、これは消費者が最初から購入する商品を決めておりできるだけ安い物を探していると考えられる。また商品名にブランド名をいれることは商品の宣伝にもなっている。

【展望】

これらの研究結果から消費者の要求をよりの確に商品に反映させるところができるようになると考えられる。企業の利益が上がるだけでなく、消費者の満足度も向上させることにつながるであろう。